

I 学校教育及び運営

1 令和5年度 坂城町立南条小学校

グランドデザイン



学校目標 一人のかがやき みんなのかがやき

～わたしがかがやく、あなたもかがやく、みんながかがやく～
 (かがやいていない子どもはいない。自分がかがやいていることに気づき、友だちもかがやいていることを認め、さらにみんなでかがやきたい。)

自立を目指す子どもの姿

思い合い

やさしい言葉で話し、
支え合い、自分や友だち
を大切にしようとする子ども **みつめる力**

学び合い

問いを持ち、よく聴き、よく考え、ねばり強く学ぼうとする子ども **うごく力**

鍛え合い

自分を見返し、他者と関わりながら、心も体も健康に自分を高めていく子ども **かかわる力**

合いとは仲間との高め合い

集団の中で育ち合う学級・学年・学校づくり

3つの合いの結果

坂城の人・こと・ものに学び坂城の役に立てる子ども

【チーム南条小の目指す教職員像】

- ・保護者や地域から信頼される先生
- ・子どもに寄り添い子どもと歩む先生
- ・アイメッセージに心がけ、子どもとの信頼関係を築く先生
- ・専門性を磨き、持ち味を活かし、仲間と共に学び合う先生
- ・地域を愛し、地域に根付いた教育を実践する先生



【スローガン】

坂城町の教育

坂城の子は坂城で育てる

【目指す子どもの姿】

坂城のよさに気づき、地域を愛し、
坂城を誇れる元気な子ども

【子どもの育成のための5つの柱】

- ①生きる力と基礎学力・体力の向上
- ②ものづくりを基本とした人づくり
- ③国際化社会を生き抜く子の育成
- ④幼保・小・中・高の交流連携
- ⑤多様化する子のニーズに応じた支援

地域・家庭との連携で子どもを育てる

- ◎PTAの活動
- ◎ビナス会(歴代PTA正副会長会)による支援
- ◎すこやか育成委員会による支援

地域コーディネーターが地域と学校をつなぐ

学校支援ボランティア

- ・南条っ子応援団
- ・安心の家・見守りボランティア
- ・地域講師によるクラブ活動支援
- ・ねずみ大根栽培指導
- ・長野大学・トレッキングクラブ等の協力

地域との窓口として期待する南条児童館

本年度の重点：多様性を包み込み自分らしく学ぶことができる学校づくりの推進

～自分のよさ(かがやいている自分)に気づき、自分を好きと言える子ども～

【重点1】 自ら学び、かがやきモードの学び合いで深め合う授業づくり(自分らしく学ぶ子ども)

【重点2】 自分のよさに気づき、自分らしさを発揮できる学級づくり(探究的な学びの中で育つ子ども)

5つの柱に沿った具体的な取組と実践化

生きる力と基礎学力・体力の向上

授業づくり(自分らしく学ぶ子ども)【重点1】

- ・一人ひとりが自ら学ぶ
自分で問い(課題)を立て学習方法を決定する。
自分の学びをふり返り、検証する。
- ・かがやきモード(4人グループ)の中でヘルプが
言え、仲間同士で教え合い学び合う。
- ・子どもを信頼し任せる教師。
どのように学んでもらうかデザインする教師。
個の学びをふり返り、成長をフィードバックする。
- ・「個の学び」を大切に「協働的な学び」で支える。
「協働的な学び」を生かし「個の学び」を深める。

学級づくり(探究的な学びの中で育つ子ども)【重点2】

- ・かがやきの時間を中核に据え、地域素材をウェビ
ングマップ化し、教科横断的なカリキュラムマネジ
メントの作成。(生き物と仲よし・大豆との生活・わた
しの蚕さん・ねずみ大根・さかきのバラ・
坂城町再発見・支援センター交流 等)
- ・「課題設定、情報収集、整理分析、まとめ表
現」の探究のプロセスの手順を身につける。
- ・自分の意思や判断で活動できる時間や場。
- ・自ら求めやりたいことに没頭できる。
- ・自分らしく課題を解決し、自分のよさに気づく。

支える基盤

- ・UD化された教室環境
- ・ちがいを認め合う
- ・安心できる居場所
- ・特別支援教育の充実
- ・SDGs

道徳科	特別活動	外国語・外国語活動	特色ある活動
・道徳的価値を根拠に問題意識をもち自分との関わりで考えを深める授業。発問や問い返し工夫。	・児童会による南条祭り、あいさつ運動、特技大会等 ・地域講師に学ぶクラブ活動	・専科・ALTを活用しコミュ ニケーション力を高める授業 ・低学年から親しむ活動	・地域に支えられ愛される金管 バンド(3校の合同課外活動) ・体みがき体操
もの作りを基本とした人づくり	国際社会を生き抜く子の育成	幼保・小・中・高との連携	多様化する子のニーズに応じた支援
・地域産業を生かしたものづくり ・相手の立場に立ったものづくりの活動。 ・友と協力したものづくり	・中国上海市の小学校との 相互交流 ・ALTとの国際理解交流 ・国際交流村	・幼保小中が連携した情 報交換や引き継ぎを密に した移行支援。 ・「オール坂城」を合い言 葉にした共通理解。	・特別支援教育と低学年教育の 充実による早期適応対応。 ・Q-U図を有効活用した児童理 解と学級づくり。 ・チームによる支援体制の充実と 外部機関と連携した相談対応。

坂城に生き、坂城を愛し、坂城のために役立つ子どもを育成

